

総務環境委員会説明資料

次期総合計画中間案について

平成30年7月2日

総務局

目 次

	頁
1 これまでの経過について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 次期総合計画について	
(1) 計画策定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2) 名古屋を取り巻く状況・・・・・・・・・・・・	4
(3) 長期的展望に立ったまちづくり・・・・・・・・	5
(4) 第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業・・・	10
(5) 都市像の実現に向けた施策・事業・・・・・・・・	12
3 今後のスケジュールについて・・・・・・・・・・・・	14

(参考)

名古屋市次期総合計画中間案

1 これまでの経過について

時 期	主 な 事 項
平成29年度	中長期的な市政の課題に関する検討調査 ・潮流、課題等の調査 ・名古屋市民2万人アンケート調査 ・通勤・通学者アンケート調査 ・政令指定都市等居住者アンケート調査 ・子どもたちからの意見聴取 ・若者（学生）からの意見聴取 ・女性の活躍推進認定企業社員からの意見聴取 ・外国人市民からの意見聴取 次期総合計画策定方針の公表
平成30年5月	名古屋市次期総合計画有識者懇談会の立ち上げ

2 次期総合計画について

(1) 計画策定の考え方

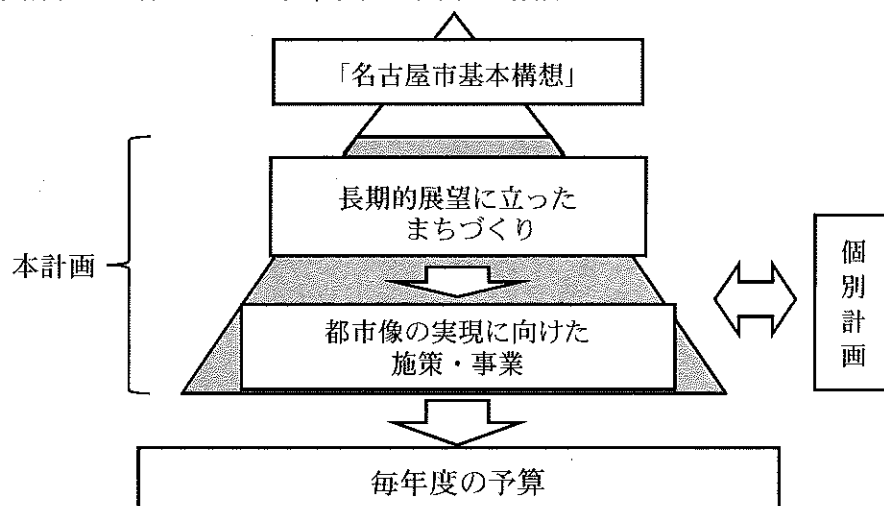
ア 計画策定のねらい

本計画は、第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業を重要な柱と位置づけ、長期的展望に立った上で、本市のめざす都市像を描くとともに、その都市像の実現に向けて取り組む施策等を明示することにより、市政を総合的かつ計画的に運営していくことを目的に策定する。

イ 計画の全体像

(ア) 計画の位置づけ

- ・「名古屋市基本構想」のもとに、本市がめざす都市像などを「長期的展望に立ったまちづくり」として示し、その実現のために必要な施策・事業を総合的・体系的に取りまとめる。
- ・本市の各分野の個別計画は、本計画との整合をはかる。
- ・本計画を踏まえ、毎年度の予算を編成する。



(イ) 計画期間

- ・計画期間は、平成 31 (2019) 年度から平成 35 (2023) 年度までの 5 年間とする。
- ・「長期的展望に立ったまちづくり」には、第 20 回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線(品川－名古屋間)の開業後となる平成 42(2030)年頃を見据えて都市像・戦略を描く。
- ・「都市像の実現に向けた施策・事業」には、5 年間の計画期間内に取り組む施策と関連する事業を掲載する。(中間案には施策体系までを掲載し、具体的な施策・事業は、計画案において掲載予定)

(年度)

平成- 30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
	長期的展望に立ったまちづくり …平成 42(2030)年頃を見据えた本市のめざす都市像・戦略											
	都市像の実現に向けた 施策・事業											

(ウ) 計画の構成

I 計画策定の考え方

- 1 計画策定のねらい
- 2 計画の全体像

II 名古屋を取り巻く状況

- 1 名古屋の概況
- 2 本市を取り巻く社会経済情勢と課題
 - (1) 少子化・高齢化に伴う人口構造の変化
 - (2) 価値観・ライフスタイルの多様化
 - (3) 自然災害に対する懸念
 - (4) 環境の持続可能性に対する懸念
 - (5) リニア中央新幹線の開業に伴う変化
 - (6) 交流人口の増加
 - (7) 産業を取り巻く環境の変化
 - (8) 公共施設の老朽化

III 長期的展望に立ったまちづくり

- 1 まちづくりの方針
アジア競技大会、リニア時代、人口減少社会を見据えた未来につながるまちづくり
- 2 めざす都市像
 - 都市像1 人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち
 - 都市像2 安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち
 - 都市像3 人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち
 - 都市像4 快適な都市環境と自然が調和したまち
 - 都市像5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち
- 3 将来の都市構造

4 重点戦略

第20回アジア競技大会の開催や今後迎えるリニア時代と人口減少社会を念頭に、新たな名古屋を創造していくとともに、「持続可能な開発目標(SDGs)」の理念を踏まえ、経済・社会・環境が調和した持続可能なまちづくりを進めていくため、名古屋の強みのもと、社会を支える「ひとづくり」や強靱で質の高い「都市づくり」を中心に、未来につながる好循環を生み出す投資を積極的かつ戦略的に行うことにより“住みやすさ”“強い経済力”“にぎわい”“持続可能性”を兼ね備えた世界から選ばれるスーパー・メガリージョンの中心都市をめざします。

- 戦略1 子どもや親を総合的に支援し、未来を担う人材を育てます
- 戦略2 みんなで支え合い、安心・安全で活力あふれるまちづくりを進めます
- 戦略3 災害に強く、環境にやさしい持続可能な都市を構築します
- 戦略4 強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、都市機能を強化します

5 市政運営の取り組み

IV 第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業

- 1 第20回アジア競技大会を契機としたまちづくりビジョン
- 2 リニア時代のまちづくりビジョン

V 都市像の実現に向けた施策・事業

(2) 名古屋を取り巻く状況

区 分	内 容
少子化・高齢化に伴う 人口構造の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的な人口減少に対する懸念 ・若い女性の関東圏への転出超過 ・社会の支え手の負担増に対する懸念
価値観・ ライフスタイルの多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢単身世帯の増加 ・地域のコミュニティ機能の低下 ・外国人住民の増加
自然災害に対する懸念	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震の発生確率の上昇 ・豪雨の発生回数の増加 ・洪水や高潮による浸水被害に対する懸念
環境の持続可能性に 対する懸念	<ul style="list-style-type: none"> ・平均気温の上昇 ・緑地など身近な自然の減少 ・ごみ処理量の増加に対する懸念
リニア中央新幹線の 開業に伴う変化	<ul style="list-style-type: none"> ・東京－名古屋間の移動時間の短縮 ・スーパー・メガリージョンの誕生 ・ストロー現象に対する懸念
交流人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人宿泊客数の増加 ・市民のまちに対する推奨度の不足 ・第20回アジア競技大会の開催決定
産業を取り巻く環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT、AI、ロボットなど技術革新の進展 ・労働力不足の深刻化に対する懸念
公共施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の老朽化の進行

(3) 長期的展望に立ったまちづくり

ア まちづくりの方針

アジア競技大会、リニア時代、人口減少社会を見据えた未来につながるまちづくり

- ・名古屋の強みを最大限に引き出す
- ・名古屋大都市圏の成長をけん引する
- ・リニア時代のリーダー都市へ
- ・アジア競技大会を契機に、郷土愛にあふれ世界から選ばれる都市へ
- ・安心・安全で住みやすく、みんなが活躍でき、みんなを応援する都市へ
- ・世界に冠たる「NAGOYA」へ

イ めざす都市像

都市像1 人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち

- ・人権が尊重され、誰もが生きがいを持って生活できるまち
- ・誰もが不安なく、自立して生活できるまち
- ・多様な人々が自分らしく活躍できるまち

都市像2 安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち

- ・安心して子どもを産み育てることができるまち
- ・子どもが健やかに成長できる、笑顔あふれるまち
- ・若者が明るい未来を切りひらき、いきいきと活躍できるまち

都市像3 人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち

- ・地震や豪雨などの災害に強いまち
- ・火災や犯罪、交通事故が起こりにくいまち
- ・安心・安全な市民生活が守られているまち

都市像4 快適な都市環境と自然が調和したまち

- ・快適な都市環境の中で暮らせるまち
- ・自然が身近に感じられる潤いのあるまち
- ・環境にやさしい低炭素で循環型のまち

都市像5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち

- ・高いブランド力を有し、市民が誇りに思えるまち
- ・世界から人や企業をひきつける、開かれたまち
- ・地域の産業が活性化し、高い産業競争力を有するまち

ウ 将来の都市構造

- ・リニア中央新幹線の開業効果を最大化するため、スーパー・メガリージョンの中心都市にふさわしい都市構造の実現をめざす。
- ・人口減少が見込まれ、高齢化が急速に進行する中で、集約連携型の都市構造の実現をはじめ、さらなる生活の質の向上のために必要な都市構造の実現をめざす。

エ 重点戦略

- ・第 20 回アジア競技大会の開催や今後迎えるリニア時代と人口減少社会を念頭に、新たな名古屋を創造していく必要がある。
- ・平成 27 (2015) 年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、本市においても、その理念を踏まえ、経済・社会・環境が調和した持続可能なまちづくりを積極的に進めていかなければならない。
- ・名古屋の強みのもと、第 20 回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業を千載一遇の飛躍のチャンスと捉え、社会を支える「ひとづくり」や強靱で質の高い「都市づくり」を中心に、未来につながる好循環を生み出す投資を積極的かつ戦略的に行うことにより“住みやすさ”“強い経済力”“にぎわい”“持続可能性”を兼ね備えた世界から選ばれるスーパー・メガリージョンの中心都市をめざす。

戦略 1 子どもや親を総合的に支援し、未来を担う人材を育てます

未来を担う人材が育つ！「子ども・若者応援戦略」

- ① 子どもの権利の保障と健やかな育ちの支援
- ② 確かな学力の育成、体力向上の推進
- ③ グローバル人材・ものづくり人材・ICT 人材の育成に向けた教育の充実
- ④ 学びを支える教育環境の充実
- ⑤ 若者が学び活躍できる環境づくり

安心して子育てができる！「子育て応援戦略」

- ① 妊娠から子育てにわたる切れ目のない支援
- ② 働きながら子育てができる環境づくり
- ③ 社会全体で子育てを支援する環境づくり

戦略2 みんなで支え合い、安心・安全で活力あふれるまちづくりを進めます

みんなにやさしい！「誰もが安心戦略」

- ① 健康寿命の延伸に向けた健康づくり・予防医療の推進
- ② 認知症施策の充実など地域包括ケアシステムの深化・推進
- ③ 障害者の地域生活支援
- ④ 救急救命体制の充実
- ⑤ バリアフリーのまちづくり
- ⑥ 安心・安全な地域づくり
- ⑦ 多文化共生の推進

みんなが主役・担い手！「元気活躍戦略」

- ① 高齢者の活躍推進
- ② 女性の活躍推進

みんなで作る！「地域コミュニティ活性化戦略」

- ① 活躍できる場の形成と参加に向けた地域活動の促進
- ② 地域の多様な担い手の育成・支援

戦略3 災害に強く、環境にやさしい持続可能な都市を構築します

備えを万全に！「地域支え合い戦略」

- ① 防災啓発活動の推進
- ② 地域特性に応じた防災対策の推進

災害時でも安心！「災害対応力向上戦略」

- ① 消防・救助体制の充実、防災拠点の強化
- ② 情報収集伝達手段の多様化・充実
- ③ 指定避難所の機能強化
- ④ 耐震対策・浸水対策など都市防災機能の強化
- ⑤ 帰宅困難者対策の推進

環境にやさしい！「持続可能都市戦略」

- ① 低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルへの転換
- ② 緑に親しめる環境づくり、水循環の回復、生物多様性の保全
- ③ 社会経済情勢の変化に対応した3Rの推進

戦略4 強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、都市機能を強化します

来たれアジア！リニア！「都市機能強化戦略」

- ① リニア中央新幹線開業に向けた都心部の魅力づくり
- ② 第20回アジア競技大会に向けた基盤整備
- ③ 圏域の交通ネットワークの利便性の向上
- ④ 中部国際空港、名古屋港の機能強化
- ⑤ 先進的なモビリティ技術の活用促進

交流を促進し新たな価値を創出！「イノベーション戦略」

- ① 先端技術の活用、創業などによる価値づくりの促進
- ② 次世代産業の振興、戦略的企業誘致
- ③ 産業交流の促進、MICEの誘致
- ④ 地域商業の活性化
- ⑤ 将来を担う産業人材の育成・確保

魅力資源の磨き上げ！「魅力向上・発信戦略」

- ① 名古屋城を核とした魅力軸の創出・発信
- ② 文化・歴史資源、観光資源など名古屋が有する魅力の向上・発信
- ③ インバウンドの促進、おもてなしの充実
- ④ スポーツ、ポップカルチャーを活かした魅力の創出・発信
- ⑤ シビックプライドの醸成

オ 市政運営の取り組み

区 分	内 容
市民サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・人を大切にするという視点に立ったサービスの提供 ・市政への多様な市民の意見を反映する機会の拡充
情報発信・ 情報公開の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な媒体を活用したわかりやすい情報発信 ・個人情報の適正な保護及び管理 ・情報提供・情報公開の推進
地域主体の まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまちづくりへの市民参加の促進 ・地域住民や地域団体、NPO などへの支援 ・「住民に身近な総合行政機関」である区役所による地域防災力の向上や地域福祉の推進などへの取り組み
企業、NPO、大学など 多様な主体との 連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体が有するノウハウや創意・工夫を積極的に取り入れるなど、課題解決や新たな価値の創造に向けた効果的・効率的な取り組みの推進
持続可能な行財政運営	<ul style="list-style-type: none"> ・より効果の高い事業への人員や財源の振り向け ・民間活力の導入や新たな歳入の確保 ・多様な PPP/PFI 手法の導入の検討
ICT の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用した行政サービスや都市機能の向上及び行政事務の効率化の推進 ・情報のオープンデータ化や安心・安全に ICT を活用できる環境整備の推進
アセットマネジメントの 推進	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の長寿命化による経費の抑制と平準化や保有資産の有効活用と財源確保などの取り組みの推進
市民とともに 名古屋の将来を築くこと のできる職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から信頼され、広い視野を持ち、時代の変化に対応して新しいことに果敢に挑戦していくことのできる職員の育成 ・大規模災害に備えた職員の防災意識の醸成
圏域における 自治体連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の自治体との連携の推進 ・近隣市町村との連携・協力関係の強化
本市がめざす大都市制度	<ul style="list-style-type: none"> ・「圏域における自治体連携の推進」及び「『特別自治市』制度の創設」の実現に向けた取り組みの推進

(4) 第20回アジア競技大会の開催とリニア中央新幹線の開業

ア 第20回アジア競技大会を契機としたまちづくりビジョン

(ア) 第20回アジア競技大会の開催について

- ・アジア競技大会は、原則4年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典であり、「アジア版オリンピック」ともいわれる国際競技大会である。
- ・開催期間中に選手、監督、コーチなど大会関係者約1.5万人、観客約150万人がこの地域に来訪することが見込まれており、経済効果は約1,625億円と試算されている。
- ・アジア各国に本市をPRする千載一遇のチャンスとなることから、一過性のスポーツイベントに終わらせるのではなく、大会の開催効果をスポーツの振興をはじめ、国際交流の促進、交流人口の拡大、国際競争力の強化など、さまざまな分野につなげていくことが必要である。

(イ) 基本目標

基本目標1	スポーツにより、市民が健康に暮らし、地域の活動が盛んになることで、活力ある都市の実現
基本目標2	スポーツにより、都市のブランドが確立することで、にぎわいあふれ市民が誇りを持てる都市の実現
基本目標3	大会で、アジアをはじめとした諸外国との交流や理解が深まることで、豊かな国際感覚を備えた開かれた都市の実現
基本目標4	大会で活用した選手村や競技施設、先端技術などが、大会モデルとして未来に引き継がれることで、持続可能な都市の実現

イ リニア時代のまちづくりビジョン

(ア) リニア中央新幹線の開業について

- ・リニア中央新幹線開業によって名古屋と東京が約 40 分でつながり、日本の有史以来初めて東京－名古屋間の時間距離が名古屋－大阪間よりも小さくなり、東京との人の交流が盛んになると見込まれる。
- ・リニア中央新幹線が大阪まで延伸されると、ひとつの巨大な都市圏となるスーパー・メガリージョンが誕生し、本市が 7,000 万人規模の世界最大の交流圏の中心都市となる。
- ・名古屋が有する世界レベルのものづくり技術や広域的な交流ネットワークによる経済活動の多様性が発揮されることで、産業や観光など、さまざまな分野において、魅力的で世界から人をひきつける国際都市へと成長する可能性を秘めている。
- ・大規模地震などの自然災害に対する懸念や生産年齢人口の減少が予測されるなど、多くの課題を抱えており、名古屋大都市圏が世界に誇るものづくり産業においても、技術革新に伴う産業構造の急速な変化に対応し、持続的な成長をはかる必要がある。
- ・名古屋の強みを時代に対応したより強靱なものへと進化させるとともに、国際的な都市間競争力を一層高め、本市や名古屋大都市圏の成長、ひいては日本全体の成長につなげていく。

(イ) 基本目標

基本目標 1	国内外のヒト・モノ・カネ・情報が行き交う交流拠点都市の実現
基本目標 2	我が国の人流・物流を支える強くしなやかな都市の実現

(5) 都市像の実現に向けた施策・事業

都市像1 人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち	
施策 (10)	1 生涯にわたる心身両面の健康づくりを支援します
	2 適切な医療を受けられる体制を整えます
	3 高齢者が生きがいを持って暮らせるよう支援します
	4 高齢者が地域で安心して暮らせるよう支援します
	5 安心して介護を受けられるよう支援します
	6 障害者が自立して安心して暮らせるよう支援します
	7 誰もが意欲を持って働けるよう、就労支援を進めます
	8 生涯にわたる学びやスポーツを通した生きがいづくりを支援します
	9 人権が尊重され差別や偏見がない社会をつくります
	10 男女平等参画を総合的に進めます

都市像2 安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち	
施策 (5)	11 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります
	12 子どもが健やかに育つ環境をつくります
	13 虐待やいじめ、不登校から子どもを救います
	14 子どもの個性を大切に、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育みます
	15 若い世代が学び育ち、活躍できるまちをつくります

都市像3 人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち	
施策 (7)	16 災害に強い都市基盤の整備を進めます
	17 防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します
	18 災害時に市民の安全を守る体制の強化を進めます
	19 犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりにつとめます
	20 衛生的な環境の確保につとめます
	21 安心・安全でおいしい水道水を安定供給します
	22 消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します

都市像4 快適な都市環境と自然が調和したまち	
施策 (10)	23 大気や水質などが良好に保たれた快適な生活環境を確保します
	24 身近な自然や農にふれあう環境をつくります
	25 公共交通を中心とした歩いて暮らせるまちづくりを進めます
	26 良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します
	27 歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します
	28 バリアフリーのまちづくりを進めます
	29 多様なニーズに対応した安心・ゆとりある住生活の実現・継承をはかります
	30 市民・事業者の環境に配慮した活動を促進します
	31 低炭素都市づくりを進めます
	32 3Rを通じた循環型都市づくりを進めます

都市像5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち	
施策 (9)	33 世界の主要都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます
	34 国際的に開かれたまちづくりを進めます
	35 港・水辺の魅力向上をはかります
	36 魅力的な都市景観の形成を進めます
	37 歴史・文化に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します
	38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します
	39 スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます
	40 地域の産業を育成・支援します
	41 新たな価値を創造する産業を振興するとともに、産業交流を促進します

市政運営の取り組み	
施策 (4)	42 市民サービスの向上を進めます
	43 市民への情報発信・情報公開を進めます
	44 地域主体のまちづくりを進めます
	45 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます

